

教 育 委 員 会 議 事 録

(令和3年度 教育委員会 第8回定例会)

開会 令和3年11月9日(火)

閉会 令和3年11月9日(火)

午前9時00分

午前10時18分

場所 西宮市役所6階教育委員会会議室

出席委員	教育長 重松 司郎 委員 側垣 一也 委員 長岡 雅美 委員 藤原 唯人 委員 山本 幸夫	欠席委員		
会議に出席した職員	職	氏 名	職	氏 名
	教育次長	藤井 和重	青少年育成課長	山崎 豊
	教育次長	佐々木 理	青少年育成課担当課長	増田 俊也
	教育総括室長	薩美 征夫	学校保健安全課長	濱本 新
	参与(人事担当)	八橋 徹	教育研修課長	木田 重果
	参与(教育政策推進担当)	岡崎 州祐	生涯学習企画課長	中島 貴子
	学校支援部長	吉田 巖一郎	生涯学習部長	上田 幹
	学校教育部長	漁 修生	教育企画課係長	瀧井 佑介
	教育総務課長	竹村 一貴	教育総務課係長	青木 威
	教育企画課長	原田 博司		
	教育職員課長	秦 淳也		
署 名	教育長		委員	

付 議 案 件

<教育長報告>

<議 題>

- 議案第35号 西宮市立総合教育センター条例の一部を改正する条例の
施行期日を定める規則制定の件 (教育研修課)
- 議案第36号 西宮市教育委員会の管理する防火対象物および
防火管理者の指定に関する規程の一部を改正する規程制定の件 (教育総務課)
- 議案第37号 西宮市いじめ防止等対策委員会臨時委員の委嘱の件 (学校保健安全課)
- 報告第16号 西宮市立青少年育成センター条例を廃止する条例案に関する意見決定の件
(青少年育成課)
- 報告第17号 西宮市吏員退隠料条例等を廃止する条例案に関する意見決定の件 (教育職員課)

<一般報告>

- 一般報告① 生涯学習事業の実施状況について [生涯学習企画課]
- 一般報告② 令和4年成人式『二十歳を祝うつどい』について [青少年育成課]
- 一般報告③ 児童生徒の状況について **非公開** [学校保健安全課]

以 上

傍 聴

0名

重松教育長	<p>ただいまより、令和3年度 第8回 教育委員会定例会を開催します。</p> <p>議事録署名委員には、側垣委員を指名します。よろしくお願ひします。</p> <p>はじめに、8月定例会について、議事録の承認を行います。</p> <p>議事録は既にお手元に送付し、確認していただきましたが、簡単な字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>それでは、承認します。なお、簡単な字句の訂正があれば、事務局にお伝えください。</p> <p>ここで、各委員に確認します。</p> <p>本日は傍聴者がおられません、会議は公開が原則ですが、報告第16号と17号は市議会に付議する案件であり、現時点では公表されておられません。</p> <p>また、一般報告③は個人情報を含む案件であり、公開により率直な意見交換ができなくなる恐れがあるため、非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認め、非公開とします。</p> <p>審議の順番についてですが、公開案件から先に行い、続いて非公開案件に移りたいと思います。</p> <p>では、はじめに私から報告をさせていただきます。</p> <p>最近、コロナがおさまってきていますので、コロナ以外の話、国の学習状況調査など、いろいろな調査についての話をしたいと思います。</p> <p>まず一つ目は、世界幸福度ランキングというのがありまして、国連の持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)が、毎年3月20日の「国際幸福デー」に合わせて、国別の幸福度ランキングを発表しています。世界150カ国以上が参加して、2012年から実施されています。最初は経済的指標だけ順位を決めていたみたいですが、本当の幸福度は経済的指標だけでは図れないということで、主観的な幸福度について11段階で調べるということを行っています。</p> <p>例えば非常に幸福だ、幸福でないなどを11段階で判断して、それと合わせて六つの項目、一人当たりの国民総生産(GDP)、社会保障制度などの社会支援、健康寿命、人生の自由度(人生選択の自由度)、他者への寛容性、国への信頼度、不</p>

正がないなど、そういうことも合わせて調査しています。主観的な幸福の調査が主なものになりますが、日本は2012年のスタートのとき150カ国中、44位でした。その後2013年に43位に、2014年度は参加せず、2015年度は46位で、そこからずっと下がり、2020年度は62位という形でした。それが、今年の調査の結果は56位になっています。一年間だけの調査ではなく、3年間の平均、ですから21年度の調査なら、19年、20年、21年の平均をとって結果を出しています。20年度であれば、18年、19年、20年の平均という形になります。一番比重が大きいのは総合幸福度で、1位がフィンランドで4年連続1位、その他トップ10は、ほとんどヨーロッパの国です。56位の日本はどこが悪かったかという、総合的幸福度が余りよくなかったということ、それから人生の自由度、他者への寛容性が少し低かったみたいです。健康寿命や一人当たりのGDP、それから社会保障などは非常に良いのに、なぜここだけ非常に悪いのかという、一つはもともと労働環境があまりよくなくて、日本の悩みである、働き過ぎ、有給休暇がとりにくい、自分に合った仕事をなかなか選びにくいなどが大きく影響しているようです。人生100年時代と言われており、働き方を考えていく必要がありますが、日本の場合は一つの企業に入ったら、一生その企業で働くことが今までは原則でした。最近はそうではなくなっている、幸福度にも影響しているようです。

それからもう一つの、他者への寛容性ですが、阪神淡路大震災のとき、兵庫県はボランティア元年と言われ、ボランティアがきちんと根付いていませんでした。それと日本人には、寄附するというのが風習的にないのだそうです。その部分がかかり引かれているというので、点数が上がっていないということがあります。一番の問題は幸福度の調査で、日本人の気質も大きいのではないかとされています。明治大学の情報コミュニケーション学部の友野先生は、日本人は控え目な気質で、「あなたは今幸せですか」と聞かれると、「それなりに幸せです」と答えることはあっても、「イエス！本当に幸せです」と答える人は、ほとんどいないと言っています。そうすると、11段階で付けると大体5、6辺りに答えが集中するので、10や11、非常にいいと付けることがあまりないということになります。ですから余り順位は気にせず、必要なことを着実に実施していくことが大切ではないかと思っています。同じように、アジア系の国々も非常に低くて、中国や韓国も80位や60位です。ですからやはり欧米系は、自分の意見をはっきり言う国民性ですので、高い順位にあると推察されます。また、ジェンダー平等がヨーロッパでは進んでいますので、その部分の点数が高いのかなと思います。日

本でも男女の働き方について様々に議論されていますが、大きな変革が必要であるとの調査からも言われています。今までは、仕事は男で女性は家庭で育児ということが多くありました。女性が働いている年代を表すものとしてM曲線がよく使われますが、最近のはっきりとしたM型ではなくなっています。

どういうことかという、今までは20代で結婚して20代か30代で子供が生まれるのが一般的でしたが、近年は遅くなっていて、大学を出て就職をして20代は一生懸命働き、20代の終わりから30代始めで結婚をどうしようかと考えだすため、女性にとっては30代が一つの分岐点なのだそうです。30代始めで結婚すると、30代後半ぐらいに子供が生まれて40代にかかります。そうすると、仕事を続けていた場合、職場でもキャリアを積んでいますので重要な仕事を任せられるようになる。ところが子供ができて育児が重なると、管理職になるのを躊躇するというようになってきます。典型例が学校の先生です。小学校の教員は女性が6割で男性は4割ですが、女性の管理職の数は本当に少ない。管理職にならなければいけないと言っているわけではないのですが、そういうことが現実的にあるので、ジェンダーや女性の働き方の問題が幸福度のこの調査の中にもはっきり出ていますので、どうしていくのかは大きな課題だと思っています。

それからもう一つ、全国学力学習状況調査の質問紙の中で、「自己有用感・挑戦心」という項目について調査をしています。調査項目は幾つかあるのですが、そのうちの六つについて、話をしたいと思います。

「自分によいところがあると思いますか」については、小学校では85%、中学校では75%前後で推移しています。令和2年度はコロナで調査ができませんでしたが、ほとんど変わっていません。ですからこの部分については、コロナの影響を全然受けていないという結果になっています。

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」については、学校が休校になり、なかなかディスカッションなどができなかったということがあって、小学校で15ポイントぐらい下がっています。中学校でも5ポイントほど下がっていますが、それでも7割ぐらいは、楽しいと思うという意見を述べていますので、この部分はかなりコロナの影響をうけていると思われます。

「将来の夢や希望を持っていますか」については、コロナの影響より前の平成29年度からかなり下がってきています。特に小学校で大きく下がっていますので、子供たちが夢や希望を持てなくなっている状況にあるのではないかなということが言われています。不登校教室を扱ったテレビドラマの中で、幸せでない理由として「大人が幸せになってくれないから、私たちも幸せになれない」という

言葉がドラマの最後にありましたので、そういったことが影響している可能性があります。将来に対する夢や希望が持てなくなっている日本の状況がそのまま子供に反映していると色々評論家が意見を言っています。ですから子供たちが夢や希望を持てるように、将来に向かって頑張っていけるような、そういう学校経営、学校が楽しいとならなければいけないと、この調査の結果から感じます。

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、小学校も中学校も9割5分がそう思うと答えています。コロナ禍で子供たちは、コロナを防ぐための医者になりたい、治療薬を作る人になりたいと考えていると、ほかの調査でも出ていますので、コロナの影響に負けず、打ち勝っていくような意見もあるようです。人の役に立ちたいと思うのであれば、3番目の「将来の夢や希望を持っていますか」とリンクしそうな感じですが、3番目の方は下がっていて、4番目は上がっています。目的が持てるとははっきりと答えられるが、漠然としたことについては不安があるのではないかと思っています。

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦していますか」については、コロナでいろんな行事ができなかった、それから地域の行事をほとんどやっていないということがあって下がっています。これは原因がはっきりしており、難しいことへの挑戦も、行事がないのでできなかったということの下がっていると思います。「難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦する」というのは、今回の教育大綱の中でも、子供たちに失敗を恐れることなく挑戦してほしいとも言っていますので、しっかり学校の中で指導されて行けば、上がって行くと期待していますが、もしうまくいかなかったら、せっかく作った教育大綱が意味のないものになってしまうと心配しています。

それから三つ目、「ハーバード成人発達研究」という調査が発表されています。

75年間にわたって、子供から大人になっていく過程で、どういう人間関係を構築しているのかなどの調査をしています。血液や脳のスキャン画像の分析、アンケート調査や被験者との交流などを通して、75年間で心と体の健康がどうなっているのか。何が一番大事なのか、お金持ちになれば幸福になれるのか、そうではなく幸せの要因は他にあるのか、ということ調査しています。その結果、人間関係が最終的に一番大事だという結果になっています。他者と関係がある、たくさん友達がいるではなくて、最終的に頼れる人がそばにいる環境が非常に大事だということです。頼れる人がいると、脳や神経に非常によい影響を与え、心と体のバランスがうまくとれる。しんどい時など、そういう人から応援してもらおうと非常に楽になるなど言われます。一番大切なのは人間としてのつながりで、孤

<p>山本教育委員</p>	<p>独を感じている人は、早く衰えて短命になる傾向が強いや、交際相手がいないと鬱になったりしてしまうということが、はっきり言われています。これからは、人生100年時代ですから、よい人間関係を作って、その中で人生を楽しく生きていくということが、大事だということがここでは示されていると思います。</p> <p>この調査は、二つの地域、ハーバード大学を卒業してエリートな生活をしている人と、ボストンで貧しい生活を送っている人をサンプリングで選んで調査していますが、どちらも同じ結果でした。つまり、富があるということよりも、人と人のつながりが大事だということです。</p> <p>西宮市が打ち出しているシチズンシップは、これに当てはまると思います。人間関係がうまく構築できないと地域の中では生きていけませんので、どうしていくべきかの答えの一つが示されていると考えています。</p> <p>この調査は75年という長期間で実施されましたので、研究のリーダーも3代に渡りましたが、統一された研究結果が出てきていると思います。昔あったマシュマロ実験の場合は、サンプリングした子供たちに少し問題がありましたが、ハーバード成人発達研究の方は、きちんとしたデータが出てきていると思います。</p> <p>結論としては、学校でもやはり人と人のつながり、友達関係などが非常に大事だということがこれらの調査結果から言えると思っています。</p> <p>私からの報告は以上です。何かありましたら、お願いします。</p> <p>幸福度の話を最初にされて、ふと最近、気になっている言葉で「ウェルビーイング」という言葉があります。「ハピネス」というのは、感情的な幸せやそのときの幸せや個人的な幸せ、「ウェルビーイング」というのは、継続した社会全体の幸福ということで、そういう概念が時代のせいもあり登場してきています。先ほどのOECDの調査を聞いているとウェルビーイングを構成する四つの因子とつながってるところがあります。例えば一つ目の「やってみよう」（自己実現と成長）。これは要するに挑戦ということで、肯定感などがそれにあたります。二つ目が、「ありがとう」（つながりと感謝）。これは人間関係とも関係してくるのでしょうか。三つ目が、「なんとかなる」（前向き）にあたります。それから四つ目が「あなたらしく」（独立とマイペース）。こういうことは学習指導要領でも言葉を換えて登場しているのですが、学校という現場あるいは組織の中で、どの程度できているのか。ウェルビーイングの観点から改めて、学校自身が考えていく必要があると思います。それが社会全体につながっていくことになると思っています。</p>
---------------	--

<p>藤原教育委員</p>	<p>ありがとうございます。幸福度のところで、なぜ日本人のランクが低いのかの要因として気質を挙げられたのですが、気質というのはそうそう変わるものではないかなと思います。一方で他者への寛容性というところが低い社会であるというのは、確かに昨今の有名人たたきなどを見ていると非常に実感するところであります。</p> <p>では、学校教育の中で一体何ができるのかというところを考えたときに、ボランティア文化が根付いていないというところは、一つ学校教育の中で取り返せる要素なのかなと思います。ただ、子供たちにボランティア活動をしなさいと言っても、いきなりできるものではありませんので、まずは保護者がボランティア活動をしっかりやる、その姿を見せるというところからかなと思います。例えばPTA活動にしても、なかなか手がおらず困っている地域もあると聞いております。私がPTA会長をしていたときは、「皆さんがこうやってボランティア活動をする姿を子供たちに見せることによって、子供たちが将来的に社会のために力を尽くすことは尊いことだという価値観の大人になってくれると思います。1年限定ですから参加してください」と活動への参加を呼びかけたことがありました。このように、まずは、大人がボランティア活動をする姿を見せることこそが大事だと思います。コロナ禍で様々な活動が制限されているわけですが、そういった姿を見せるという機会もどんどん戻していかなくてはいけないと思った次第です。</p> <p>以上です。</p>
<p>長岡教育委員</p>	<p>教育長のお話を聞いていて、どの項目も表と裏があるなと感じました。例えば日本のこれまでの労働慣行というのでしょうか、終身雇用と年功序列というの、長い間働き続ければ誰でもえらくなっていける、そして定年まで働き続けられるという安定感はあったのかもしれませんが、そこに自由度は少なかったかもしれない。けれども、自由度が高まると、今度は自分で考えて自分で行動していかなくてはいけないという、そういう厳しさが一方ではできます。</p> <p>それから女性の働き方のところ、結婚と妊娠、出産という機会が後ろになってきている。働く機会が増えることはいいのだけれども、ちょうど働き盛りのころに、キャリアを諦めなくてはいけないということがもしかしたら発生するかもしれない、物事には、良いことと悪いことの両面が常にあるのだなと思いました。</p> <p>結局、しっかりと生き抜いていくためには、実力が求められ、自分自身が持続可</p>

側垣教育委員	<p>能になっていく必要がある。例えば労働の環境を幾ら整えてもらっても自分の実力がなければそこで生き抜けないし、女性も一旦家庭に入ったとしても、もう一度社会に復帰したいという思いで、実力を付ける努力をしていくことで夢や将来の希望が広がって行くのではないのでしょうか。ですので、その実力を教育の中で付けていかなければいけない、結局のところはそこに尽きるのかなと思いました。</p> <p>教育長が最後の方におっしゃった、人とつながりの関係性が重要なのだというその辺りですね。それは、お互いをどう尊重できるかというところにつながってくるのかなと思います。山本委員がおっしゃったように、ウェルビーイングの考え方、その人や存在そのものを大切にするとするか、自分自身の存在も大切にするを子供たちに教育の場でどう伝えていくべきなのかが課題です。社会福祉の世界では、ソーシャル・ウェルフェアという言葉が相当前にソーシャル・ウェルビーイングという言葉に置き換わっています。生きていることそのものを尊重していくという、高きから低きにサービスするのがウェルフェアの考え方で、人間の存在そのものを大切にして行くのがウェルビーイングで、我々はそういう教育を受けてきました。人と人との関係性を大切にして、そのことに一人ひとりが気付いていくことが重要かなと思います。難しいことではあるのですが、このコロナの時代の中で、ソーシャル・ディスタンスが強調される余り、心のディスタンスが広がっていないのか。何かそこに仕掛けや工夫が必要なのかなと。自然な形ではなかなか難しいけれども、意識を変えていくことについて、どういう方法があるのかを、今後、考えていかなければいけない、それも教育の一つの大きな課題だと思います。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかには、よろしいですね。</p> <p>では、これから審議に入ります。</p> <p>議案第35号「西宮市立総合教育センター条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則制定の件」、それから議案第36号「西宮市教育委員会の管理する防火対象物および防火管理者の指定に関する規程の一部を改正する規程制定の件」を一括して議題とします。</p> <p>教育研修課長、お願いします。</p>
教育研修課長	議案第35号「西宮市立総合教育センター条例の一部を改正する条例の施行期日

	<p>を定める規則制定の件」並びに議案第36号「西宮市教育委員会の管理する防火対象物および防火管理者の指定に関する規程の一部を改正する規程制定の件」につきましては、いずれの内容も、総合教育センターの移転に伴うもののため、一括して説明させていただきます。</p> <p>まず、議案第35号についてですが、2ページをご覧ください。</p> <p>先に総合教育センターの移転に伴い、9月議会におきまして、西宮市立総合教育センター条例の一部を改正する条例が制定されました。移転日が定まっておりましたので、附則として、公布の日から起算して3カ月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行することとなっております。</p> <p>このたび、移転日が確定しましたので、1ページにありますように、施行期日を定める規則の制定を議案として提出いたします。</p> <p>次に、議案第36号について説明いたします。</p> <p>こちらは3ページの新旧対照表をご覧ください。</p> <p>第1項の表には、西宮市教育委員会が管理する防火対象物並びに防火管理者及び防火副管理者が記載されております。</p> <p>総合教育センターが移転する西宮市役所東館は、西宮市が管理する防火対象物となるため、第1項の表から総合教育センターに関する項目を削除するものです。</p> <p>説明は以上です。ご審議の程よろしくお願いいたします。</p>
重松教育長	<p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、なければ採決に入ります。議案第35号及び議案第36号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認めます。よって原案は可決されました。</p> <p>次に、議案第37号「西宮市いじめ防止等対策委員会臨時委員の委嘱の件」を議題とします。</p> <p>学校保健安全課長、お願いします。</p>

学校保健安全課 長	<p>西宮市いじめ防止等対策委員会臨時委員の委嘱の件につきましては、お手元の資料、議案第37号をご覧ください。</p> <p>このたび、西宮市いじめ防止等対策委員会実施要綱の改正を受けて、西宮市いじめ問題調査部会の分会である西宮市いじめ問題調査分会1、西宮市いじめ問題調査分会2を立ち上げるため、大阪弁護士会より西村弁護士に臨時委員をお務めいただくことになりました。</p> <p>このたびの任期につきましては、令和3年11月10日から調査分会の任務が完了するまでとなります。</p> <p>分会委員につきましては、資料4枚目にございます分会委員構成表をご覧ください。</p> <p>以上、ご審議よろしくお願いいたします。</p>
重松教育長	<p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>なければ採決に入ります。</p> <p>議案第37号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認めます。よって原案は可決されました。</p> <p>次に、一般報告①「生涯学習事業の実施状況について」を議題とします。</p> <p>生涯学習企画課長、お願いします。</p>
生涯学習企画課 長	<p>一般報告①「生涯学習事業の実施状況」について、ご説明いたします。</p> <p>お配りしております資料の1ページをご覧ください。</p> <p>令和3年3月末に策定しました、「西宮市生涯学習推進計画」に沿って、現在、各施策を進めておりました、資料の左の四角囲みには、該当の計画の基本方針と施策の方向を記載しています。</p> <p>最初に、多様な学びの機会の提供のため、学習情報提供の充実を図るための取り組みとして、(1)生涯学習パンフレット「にしのみやの学び」を発行いたしました。</p>

資料の3ページから14ページが、パンフレットのコピーになっております。

委員の皆様には現物をお配りさせていただいておりますので、お持ちでしたらご覧ください。

パンフレットの内容は、前半が西宮市生涯学習推進計画の概要で、後半は計画に基づく取り組みや施設を紹介しております。

各項目に掲載されているQRコードから、それぞれの事業や施設について情報を得ることができます。

このパンフレットを手にとった方が、学びを始めるきっかけとなり、学びを通じた持続可能なまちづくりの推進につながればと思っています。

ホームページにも、こちらのPDF版を載せております。

次に、1ページの(2)学びと活動のふらっとフォームについてです。

今の資料の11ページ、パンフレットでいいますと、9ページの左上に少し小さいのですが、「学びと活動のふらっとフォーム」ホームページと書いているのがあると思いますが、市のホームページの中に生涯学習関連事業を集約するページ、「学びと活動のふらっとフォーム」というのを10月に開設いたしました。

学びたい分野を縦軸、活動の種類を横軸に配置し、市内で開催される講座や講演会、イベント情報だけでなく、学んだことを活かす、ボランティア情報や団体に関する情報を分野別に検索することができます。

市のホームページ内に散らばっている生涯学習情報を集約することで、新たに学びたい、活動したい市民のきっかけづくりにつながればと考えております。

こちらは既に公開されておまして、現在、延べ180件ほどの情報が載っております。また、お時間のあるときに、ぜひQRコードからご覧ください。

続きまして、1ページ(3)公民館地域づくりワークショップについてです。

公民館で多様な主体が参画するワークショップを通じて、人と人とのつながり、団体間のネットワークをつくり、地域活動の担い手育成、居場所づくり、多世代交流行事など持続的な活動へ発展していくことを目的としています。

地域におけるニーズを把握し、ふだん公民館を利用していない市民の方にも参加しやすい取り組みとなるよう、公民館運営協議会の委員や地域学習推進員の方々にも協力していただいて、参加者の意見やアイデアを出し合って、そこで出たアイデアのうち何か一つでも実現していくことで、みんなで達成感を味わいながら、つながりづくりをしていきたいと考えております。

資料の15ページと17ページに、公民館地域づくりワークショップの開催チラシをお付けしております。今年度は、ファシリテーションを専門に行っている業

者にも入っていただき、大社公民館と段上公民館の2館で実施しています。

先日11月1日に開催した大社公民館では、地域の方、NPOの方、飛び入りの方、生活支援コーディネーターや行政など30名の参加がありました。

そこで出てきたアイデアとしては、大人も子供が学校で習っているプログラミングを体験してみたいなど、ボッチャやモルックなど、はやっているのでやってみたい、カードゲームを今日持ってきたので家族以外の人と楽しみたい、というアイデアが出まして、その三つのグループに分かれて、意見をさらに出し合っ、次回11月29日には実際やってみることになっています。

来週は段上公民館で17ページのチラシにありますように、今回は夜の時間に、それぞれ、お勧め本を持ち寄って集まることになっています。夜の時間ですので、働いている方など、ふだん公民館に来られない方にも来ていただければと考えております。

次に、資料の1ページ(4)生涯学習に関する庁内ヒアリングについてです。

資料の19ページをご覧ください。

庁内でまちづくりや生涯学習に関する部署25課に対し、各課で実施している事業についてヒアリングを実施いたしました。

ヒアリングをした結果としては、地域の担い手不足や高齢化については、どの部署においても課題であり、またコロナの影響も少なからずありまして、今後の地域のあり方も含め、市全体で考えていくべきとの意見がございました。

19ページの中段に1、今後の連携の可能性について、ヒアリングでの意見をまとめています。今後どのように連携を実現していくかは、これからでして、まずは部内の実現可能なところから協議・調整を進めていきたいと考えています。

中でも図書館と各部局との連携は大分充実してきておりまして、資料の21ページから24ページは、今年度、図書館で開催した展示やブックフェアなどの一覧で、右端の備考欄に連携先を記載しております。

また、20ページの下段の表に記載のものは、ヒアリングによって引き出した内容になっておりまして、こちらについても今後取り組んでまいります。

続きまして、(5)図書館の庁内レファレンスサービスについてです。

レファレンスサービスとは、図書館にある資料などを使って、図書館の司書が、図書資料その他の学習情報を収集し、提供をするサービスのことです。

これまで、市民向けには実施していましたが、職員にも行政課題を解決するための資料収集に図書館を積極的に活用してもらおうよう、現在呼びかけをしておりまして、図書館による学習相談の充実を図ってまいります。

	<p>最後に、(6)生涯学習研修会についてです。 25ページをご覧ください。 先週11月4日に開催をいたしまして、51名の参加がございました。 市内のNPOによる生涯学習の取り組みとして、現在、福祉分野・環境分野で全国的にも先進的に地域課題解決に取り組まれておられる、お二人に講演をいただきました。 お一人は、NPO法人なごみ、理事で事務局長の田村幸大さん。もう一人は、NPO法人こども環境活動支援協会(LEAF)専務理事の、小川雅由さんです。 今後ネットワーク型行政を進めていく上で、NPOの取り組みなど、職員も正しい情報を収集して、必要などろにつないでいけるよう、職員研修を継続して実施してまいります。 本日の説明は以上ですが、今後も生涯学習の取り組みについて、教育委員会会議で適宜報告をいたしまして、ご意見をいただきながら進めてまいりたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
重松教育長	<p>説明は終わりました。 本件にご意見、ご質問はありませんか。</p>
山本教育委員	<p>コロナのこともあり、対面での実施は11月ぐらいからという説明もありましたが、そんなにできていないことはよく分かりました。少し聞かせてほしいのですが、2のプラットフォームですが、これは市民が検索等できるようになっているということですが、実際かなり検索等はされているのですか。</p>
生涯学習企画課長	<p>10月1日からオープンしているのですが、10月のログの記録では1,700件程度でした。実は、11月10日、明日ですが市長の記者会見で、アナウンスしていただくことになっておりまして、それをきっかけに市のホームページの、トップページの今ワクチンなどで大きくバナーが動くところがあるのですが、そこにも載せていただく予定になっておりますので、検索が増えればよいと考えております。</p>
重松教育長	<p>ほかにありませんか。 よろしいですか。 なければ一般報告①を終了します。</p>

青少年育成課長	<p>今後、また報告もよろしく申し上げます。</p> <p>次に、一般報告②「令和4年成人式『二十歳を祝うつどい』について」を議題とします。</p> <p>青少年育成課長、申し上げます。</p> <p>令和4年、成人式「二十歳を祝うつどい」の開催について説明をいたします。</p> <p>配付資料、開催要項（案）の1、開催日は、例年どおり成人の日でありまして、今回は1月10日の月曜日になります。</p> <p>ここからは、資料2ページ目以降の前回との比較表を使って説明をいたします。</p> <p>会場は、前回同様、阪神甲子園球場になります。</p> <p>座席エリアにつきましては、前回同様新成人の方々には、座席間隔を空けて一つおきに座っていただきますので、1塁側及び3塁側の内野席も座席として使用いたします。また、阪神甲子園球場にはご理解をいただき、今回もグラウンド内に舞台を設置する予定をしています。</p> <p>次の着席形式ですが、今回もお住まいの中学校区ごとに区分された座席配置になりますが、これは、指定された座席エリアでの着席を義務付けるものではなく、中学校卒業以降に転入された方々を想定したご自由にお座りいただける自由席を3塁側に、また配慮が必要な方を対象とする優先席を入り口付近に設置いたします。</p> <p>対象者数は、7月末時点において、前回より5人少ない5,453人となり、参考までに前回の式典参加者数は、3,793人でした。</p> <p>内容ですが、前回同様、12時に開場し、入場口におけるマスク着用の確認、検温、手指消毒等の実施により、入場に一定の時間を要することが想定されますので、滞りなく速やかな入場を促していく必要があると考えています。</p> <p>式典内容につきましては、35分程度の時間内で前回と同じ内容を予定しており、新型コロナウイルス感染防止対策として今回もジェット風船飛ばしを中止とし、式典終了後は、各エリア別の時間差退場になります。</p> <p>次のブース等については、総合案内所及び着物の着付け直しコーナーを前回どおり設置いたしますが、飲食の禁止に伴い、球場内の売店は今回も休業といたします。</p> <p>また甲子園歴史館は現在リニューアルオープンのため休館中であり、再開後に利用可能な入場券の配布を予定しています。</p> <p>駐車場の対応は前回どおりです。</p>
---------	---

<p>重松教育長</p>	<p>北部の送迎バスにつきましては、ソーシャルディスタンス確保のため、20名の定員を予定しておりますが、前回は塩瀬便、山口便共に20名を超える乗車はございませんでした。</p> <p>資料3ページに移りますが、コロナ対策であります、新成人の方々にもワクチン接種がある程度進展している状況が想定されますが、基本的には前回と同じレベルの感染防止対策を予定しています。また、前回は式典終了後の会場周辺に歓談するグループが、幾つかできたためスムーズに移動できなかったことなどを踏まえまして、今回は退場した新成人の方々のタイガース室内練習場前にあるミノスクエアという広場に一旦誘導した上で、積極的な移動を呼びかけていきます。</p> <p>全体の運営体制として、前回は感染防止対策のため大幅な増員を図りましたが、前回の実施状況を踏まえまして、今回は総合案内所や入退場口の人員体制を合理化する一方、スタンド内安全確保に係る人員体制の充実化を図るなど事務局を含めた90名程度の職員による運営を予定しています。</p> <p>次のその他になりますが、今回は案内状を送付する封筒にマナー教室に関する広告を掲載する広告掲載事業の導入を予定しており、広告料収入を事業費に充当いたします。また、前回中止いたしました実行委員会プログラムにつきましては、当日の式典時間に影響を及ぼすことのない形での実施を検討しており、現時点における企画内容としましては、入り口付近における消毒パフォーマンスの実施や式典開始前における思い出動画の上映、市内事業者からの応援メッセージなどを予定しています。</p> <p>最後に本日の配付資料には掲載していませんが、年末以降の新型コロナウイルス感染症の急激な拡大への対応につきまして、現在協議検討をしております。</p> <p>私からの説明は以上になります。どうかよろしくお願いいたします。</p> <p>説明は終わりました。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>基本的には、去年とほとんど同じですが、一部退場のところと案内状のところ少し変わっています。</p>
<p>藤原教育委員</p>	<p>今年は、年明けから感染状況が分からない中、近隣の自治体で中止をされるところが続発しましたが、西宮市が成人式を開催したのは英断であったと思います。</p> <p>今年度も予断を許さない状況ではありますけれども、できるだけ、開催する方向で考えてくださればと思います。</p>

<p>重松教育長</p>	<p>ありがとうございます。 ほかにはございませんか。 よろしいですか。 では、なければ一般報告②を終了します。ありがとうございました。 では、これより非公開案件に移ります。 報告第16号「西宮市立青少年育成センター条例を廃止する条例案に関する意見決定の件」を議題とします。 青少年育成課長、お願いします。</p>
<p>青少年育成課長</p>	<p>報告第16号「西宮市立青少年育成センター条例を廃止する条例案」に関する意見決定の件について説明いたします。 補導活動の見直しに伴い、西宮市立青少年育成センター条例を廃止する条例案を市議会へ上程するように市長に依頼したところ、10月18日付で教育委員会へ意見聴取がなされました。 資料の2ページは、市長へ提出する文書で、4ページが市長からの意見聴取文書となっております。 この件につきましては、10月13日の教育委員会懇談会におきましてもご意見をいただいております、今回の市長からの意見聴取につきましても事前に説明いたしました内容でございます。 市議会への提出期限が11月5日であったため、10月29日付で教育長の臨時代理により、教育委員会の意見を決定し、市長に提出しましたことを報告いたします。 説明は以上です。ご審議のほどよろしく願いいたします。</p>
<p>重松教育長</p>	<p>説明は終わりました。 これより質疑、討論に入ります。 本件にご意見、ご質問はありませんか。 よろしいですか。 なければ採決に入ります。 報告第16号については、これを承認してよろしいでしょうか。</p>

重松教育長	<p>(異議なし)</p> <p>ご異議なしと認め、承認します。</p> <p>次に、報告第17号「西宮市吏員退隠料条例等を廃止する条例案に関する意見決定の件」を議題とします。</p> <p>教育職員課長、お願いします。</p>
教育職員課長	<p>それでは、報告第17号の「西宮市吏員退隠料条例等を廃止する条例案に関する意見決定の件」について説明いたします。</p> <p>まず、3ページをお開きください。</p> <p>先月13日の事務局との懇談会において説明させていただきました「西宮市教育職員退隠料条例」と「西宮市の他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と西宮市教育職員退隠料の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例」の二つの条例の廃止についてですが、市長事務部局において教職員以外の職員を対象とした「西宮市吏員退隠料条例」や、教育委員会所管の二つの条例など関連する条例をまとめて廃止する「西宮市吏員退隠料条例等を廃止する条例」案が作成され、教育委員会にも意見照会がありました。</p> <p>本市の元教職員及びその遺族にも現在、この退隠料の受給者はおらず、また、今後受給する予定者もないことから教育長の臨時代理により2ページのとおり「異議なし」で回答いたしましたので報告いたします。</p> <p>説明は以上でございます。よろしく願いいたします。</p>
重松教育長	<p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>結局、具体的に何が変わるのですか。</p>
教育職員課長	<p>この条例は、昭和24年の1月12日から昭和37年11月30日までに退職した、西宮市立学校及び幼稚園に勤務する教育職員及びその遺族に対し、退隠料を支給する旨を定めた内容でございますので、現在その対象者になるものがないということで、廃止をするということでございます。</p>

重松教育長	ということは、今までは対象者がいたのですか。
教育職員課長	過去の資料も確認させていただいたのですが、私どもの手元にある資料では、この条例を適用した記録は見つかっておりません。
重松教育長	分かりました。 ほかにはございませんか。 よろしいですか。 では、なければ採決に入ります。 報告第17号については、これを承認してよろしいですか。 (異議なし)
重松教育長	異議なしと認め、承認します。 次に、一般報告③「児童生徒の状況について」を議題とします。 学校保健安全課長、お願いします。 (非公開)
重松教育長	ほかにはございませんか。 よろしいですか。 では、なければ一般報告③を終了します。 以上で予定されていた議題は全て終わりました。 ここで委員の皆さんに運動会を視察していただきましたが、感想を聞かせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
山本教育委員	深津小学校と鳴尾東幼稚園に行かせていただきました。 深津小学校は、学年ごとで時間を決めて公開していました。 深津小学校が大きく変わってきているという、実感を持ちました。子供たちは、いろんな面ですいぶん落ちついてきていると感じました。 鳴尾東幼稚園は、小学校長と兼務の園長先生がちょうど小学校の修学旅行だったので、副園長先生を中心に実施されていました。芝生が整備されていました。幼稚園の芝生の使用は、やはりいいなと感じました。実際どれくらいの園で芝生が

	<p>整備されているのでしょうか。今後広めていくのかどうなのか、その辺りはどうなっているのでしょうか。</p>
重松教育長	<p>芝生の状況はどうなっているのですか。</p>
佐々木教育次長	<p>すみません、数は把握できていないのですが、何園かあるのは分かっておりますし、手入れにつきましては、PTAの方の力を借りることもあると、一部の園からは聞いております。また、数を確認して報告させていただきます。</p>
藤原教育委員	<p>私は、小学校と中学校1校ずつ、高木小学校と今津中学校を拝見いたしました。去年の特徴として、学年ごとに開催するというのがあったのですが、今年度は、小学校は2学年合同で、中学校は3学年全てで行ったということです。やはり子供たちの教育効果として、上の学年は下の学年に自分たちの演技を見せること、下の学年は上の学年を見て来年への励みとするという効果が、学年ごとの実施では得られないということで、複数学年で開催するというのをされたと校長先生から伺いました。また、複数学年で併せて共催することで、先生方の交流を促すという、管理職ならではの心づかいというのもお伺いすることができました。今津中学は、競技種目はなくて、マスゲーム発表会という位置付けでされていたのですが、それはそれでいいのかなと、今のあるべき形なのかもしれないと私は感じました。</p> <p>少し気になったのは、マスクは任意としているけれども、意外と多くの子供が自分では外さないと伺ったことです。ですので、何らかの形で日常、つまりマスクがない生活に戻していかなくてはいけないのかもしれませんが、学校としてできることには限界があるので、教育委員会から何らかメッセージを出すべき局面に来ているのかなと感じた次第であります。</p>
長岡教育委員	<p>私は生瀬幼稚園と平木中学校に伺いました。</p> <p>まず幼稚園の方ですが、ここは非常に人数が少なく、4歳児クラス、5歳児クラスを合わせても15人程度でした。人数が少ないのでできたのかもしれないのですが、本当に運動会らしい、競技リレーあり表現のダンスありで、リレーも色々と何度も回ってくるのです。本当に運動量の多い運動会で、最後は先生方も走ってらっしゃいましたが、先生方も2回走ってらっしゃってとてもよかったです。最後は、保護者の前に一人ずつ立って歌を歌っていました。保護者からメダルを</p>

側垣教育委員	<p>かけてもらう演出もあって、とてもいい雰囲気で行われていました。小学校が同じグラウンドの中にあるので、小学生も応援に来てくれたりして、とてもいい運動会だったと思います。</p> <p>それから、平木中学校のほうは、午後からで3年生しか見ることができなかつたのですが、表現のダンスだけでした。3年生なのでとても落ちついていて、開会の前も最後の各クラス、確認のダンスを各クラスが自主的に行って、本当に限られた演目というか、内容だったのですが生徒たちはその中で自分たちのできることをしっかりと表現しようというのが、本当に伝わってきて、短い時間でしたが、とても感動しました。</p> <p>私は、高須中学校と越木岩幼稚園に行かせていただきました。</p> <p>高須中学校は、生徒数の減で、各学年クラスがそんなにないため、一つのクラスを二つに分けて対抗リレーをされていました。1年1組A・Bや2組A・Bという形で、生徒数減少に対していろんな対応や工夫を重ねられているなど感じました。生徒たちはずっと団地の中で育て、一緒に小学校のときから育てきた子供たちで、本当に和気あいあいと、小さいときから一緒に過ごしているという感じで、校長先生もこの学校の特徴として、そういうところがありますというお話をされていましたが、なかなかみんな、非常に楽しそうでした。組み立て体操などはなく、いろんな工夫をして各競技で点数を争うという取り組みをされていました。</p> <p>それから、越木岩幼稚園は4歳児と5歳児がいて人数が多いなと思ったのですが、それぞれ発達に応じて自分ができる運動遊びを披露していくというサーキットの取り組みをみんな見せていただきました。うちの保育園の場合は、3・4・5歳児は同じクラスで同じように遊んで、異年齢の保育をしているのですが、幼稚園の場合はやはり4歳と5歳児とクラス別な活動が多い、そういう意味で言うとその発達段階は4歳児と5歳児でやはりかなり違うなと感じました。改めて気づかされたということです。5歳児だとかなり体も大きくなる子もいるので、しっかりと取り組みをされていますし、4歳児はまだこれからで、いろんなことを学んで経験してこの1年間でここまで成長したというのが見られる、そういう運動会だったと思います。</p> <p>それともう一つ、各年齢において発達に課題のある子供たちがやはり増えてきているというか、何人かそういう子供たちもおりましたので、個別に対応しなければいけない子供たちが増えているのかなと感じました。今後そういう子供たちを</p>
--------	--

重松教育長	<p>受け入れる、対応はどうして行けばいいのか、この辺りも目標に入れてやっていかなければいけないと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私の方ですが、小中高に行きましたが、高校について話をさせていただきます。コロナで競技種目をかなり減らしていますので、高校生としては物足りなかったかもしれないと思います。ただ、例年ですとりレーなどをすると、2年生が中心で3年生はもう大分衰えているという感じですが、今回は、3年生が非常に元気でした。元気というか全体の体力が落ちているのだと思います。だから1年生が全然目立たなかった。やはりコロナの影響は大きいのだと感じます。</p> <p>クラスで縄跳び競技をやったのですが、一番少ないところが100回前後で一番多いところは200何回でしたが、クラスでユニフォームまで作って同じスタイルでやっているところと、普通の体操服でやっているところと、力の入れ具合で、結果が全然違いました。何かをやるときには団体でまとまってやる、そういうクラスの意識が非常に大事だということを、今回見ていて感じました。縄跳びの回数も全然違っていましたので、印象に残りました。</p> <p>全体としては、小学校も中学校も高校も子供たちが主体的に、楽しくやっていたので、やはりこういう学校行事は非常に大事だと感じました。ただ単に体を動かすだけではなく、集団で何かを行う、そのために練習もしていると思いますが、そのことが結局、学級経営や友達関係などにつながっていくのかなと思います。またそれぞれの先生たちもいろいろ配慮していただいて、障害のある子供たちについても、いろんなところで活躍できるように工夫されていたので、それが大きかったかなと思います。</p> <p>ただ、どうしてもコロナがあり、高校は全く保護者を入れていませんでした。後で、撮ったビデオを見せるとは言っていましたが、コロナ禍で実際に見てもらえなかったのは、残念だったと思いました。</p> <p>私からは以上です。ほかにはよろしいですか。</p> <p>そうしたら、これで、第8回の教育委員会定例会を閉会します。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>
-------	---